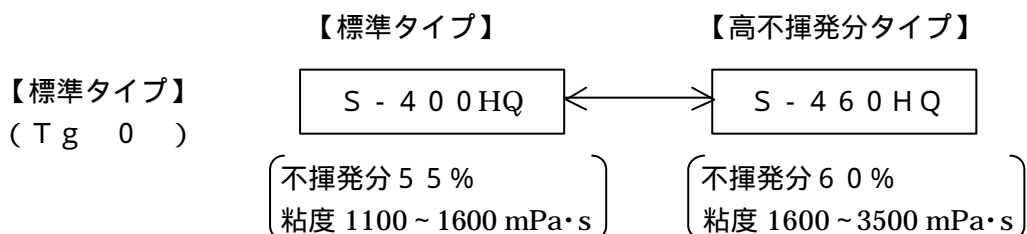


## スミカフレックス 460HQ

タイプ：	エチレン - 酢酸ビニル共重合樹脂エマルジョン	
特 色：	スミカフレックス 460HQは、スミカフレックス 400HQに比べて高不揮発分タイプなので加工時の乾燥速度をより早くすることができます。スミカフレックス 400HQと同様の接着性に加え、乾燥性、増粘性が良好で接着剤用途に向いております。	
主用途：	接着剤全般	
代表物性：		
外観		乳白色
不揮発分 ( % )		60 ± 1
粘度 ( m P a · s )		1600 ~ 3500
P H		4 ~ 7
平均粒子径 ( μ m )		0.7
密度 ( g / c m <sup>3</sup> )		1.07
M F T ( )		0
粒子荷電		ノニオン
機械安定性		良好
T g ( )		0
引張強度 ( M P a )		13.0
引張伸び ( % )		620

## ＜技術資料：スミカフレックス 460HQ＞

### 1. グレードの位置付け



### 2. エマルジョン物性

	エマルジョン物性
外観	乳白色
不揮発分 (%)	60 ± 1
粘度 (mPa·s)	1600 ~ 3500
PH	4 ~ 7
平均粒子径 (μm)	0.7
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.07
MFT ( )	0
粒子荷電	ノニオン
機械安定性	良好
Tg ( )	0

### 3. フィルム物性

#### (1) フィルム強伸度

			S-460HQ	S-400HQ	S-450HQ
強伸度	常態	伸度 (%)	620	550	540
		抗張力 (MPa)	13.0	12.7	13.0
	耐水	伸度 (%)	660	600	590
		抗張力 (MPa)	3.2	3.3	3.8

#### 測定条件

- フィルム厚み : 約0.15 mm (23 × 65%RH、7日間乾燥し成膜)  
 フィルム形状 : ダンベル3号  
 常態 : 23 × 65%RH 7日間乾燥後そのまま測定  
 耐水 : 水浸漬24時間(23) 濡れたまま測定  
 引張速度 : 500 mm/min

( 2 ) フィルムの耐水・耐アルカリ性

		S - 4 6 0 HQ	S - 4 0 0 HQ	S - 4 5 0 HQ
耐 水 性	溶出率 ( % )	9	5	4
	吸水率 ( % )	1 9	1 6	1 6
耐アルカリ性	溶出率 ( % )	1 2	9	1 2
	吸水率 ( % )	2 8	2 0	2 3

測定条件

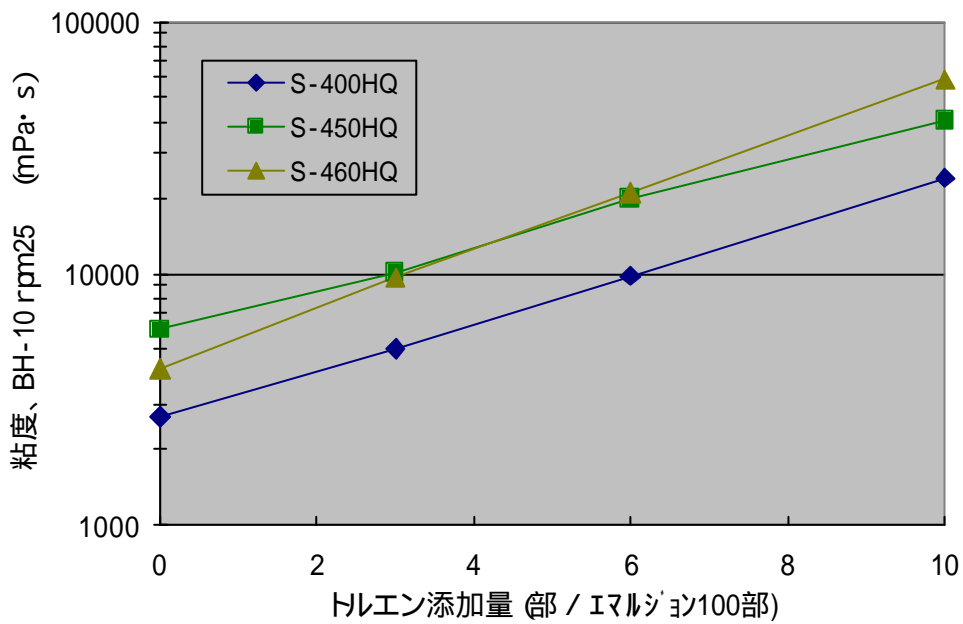
フィルム厚み : 約 0 . 1 5 mm ( 2 3 × 6 5 % R H、7 日間乾燥し成膜 )

耐 水 性 : 水浸漬 4 日間 ( 2 3 )

耐アルカリ性 : 1 N N a O H 水溶液浸漬 4 日間 ( 2 3 )

4 . 応用例

( 1 ) トルエン増粘性



(2) 塩ビ合板接着性

	トルエン添加量 (部)	剥離強度 (N / 25mm)		耐熱クリープ (mm / hr)
		常態	耐水	
S - 460HQ	0	50	19	4
	6	48	16	38
	10	46	16	50
S - 400HQ	0	53	21	5
	6	49	15	40
	10	43	13	58
S - 450HQ	0	52	25	6
	6	50	15	40
	10	45	14	55

PVCシート : 半硬質ダブリングシート  
 合板 : ラワン合板 JAS1類1等3mm厚  
 接着剤配合 : エマルジョン/トルエン = 100 / 0, 6, 10部  
 塗布量 : Wet 130 g / m<sup>2</sup>  
 圧縮 : 50 kg / 30 × 30 cm<sup>2</sup>、24時間 (23 × 65%RH)  
 養生 : 解圧後6日間 (23 × 65%RH)  
 常態強度 : 25mm幅カット後そのまま、速度 100mm / min、180°剥離  
 耐水強度 : 水浸漬 20時間後濡れたまま、速度 100mm / min、180°剥離  
 耐熱クリープ : 60、90°角、500g静荷重にて、剥離距離を測定

(3) PVCシート/パーティクルボード接着性

	剥離強度 (N / 25mm)		耐熱クリープ (mm / 10min)
	常態	耐水	
S - 460HQ	38	31	19
S - 400HQ	35	27	18
S - 450HQ	34	27	20

試験条件

パーティクルボード : JIS A5908、200-Uタイプ  
 PVCシート : 半硬質ダブリングシート  
 塗布量 : Wet 110 g / m<sup>2</sup>  
 圧縮 : 50 kg / 30 × 30 cm<sup>2</sup>、24時間 (23 × 65%RH)

養生 : 解圧後 6 日間 ( 23 × 65%RH )  
 剥離強度試験 : 5 0 mm / min  
 耐熱クリーブ : 60 、 90 ° 角、 1 k g 静荷重にて、剥離距離を測定

( 4 ) 種々基材のセットタイム

		S - 4 6 0 H Q	S - 4 0 0 H Q	S - 4 5 0 H Q
A	クラフト紙 / クラフト紙	1 3 秒	1 2 秒	9 秒
B	クラフト紙 / アルミニウム	2 3 秒	2 3 秒	2 3 秒
C	クラフト紙 / P V C	2 0 秒	1 8 秒	1 2 秒
D	パーティクルボード / P V C	5 0 分	5 5 分	5 0 分
E	石膏ボード / P V C	3 分	4 分	3 分

試験条件

接着剤 : A - B : エマルジョン原体      C - E : トルエン 6 部添加  
 塗布量 : A - C : Wet 5 0 g / m<sup>2</sup>      D - E : Wet 1 1 0 g / m<sup>2</sup>  
 試験環境 : 2 3 × 6 5 % R H  
 評価方法 : 接着剤塗布後直ちに基材同士を貼り合せ、一定時間ごとに剥離して基  
 材が 1 0 0 % 材破するまでの時間を測定する。

( 5 ) ガムアップ特性

	ガムアップ時間 ( 分 )
S - 4 6 0 H Q	5 2
S - 4 0 0 H Q	7 5
S - 4 5 0 H Q	6 1

試験条件

ロールコーター : スピード 8 5 m / min